



同盟北海道本部と札幌支部の合同8・15街頭宣伝(札幌三越前)



No.543

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円

参院選後の新たな情勢を確信に 年内に2万人の同盟建設を

安倍首相は、参議院選挙で改憲勢力が「3分の2」を割りこんだ翌日、「国民は政治の安定を求めた」「改憲についても議論すべきと国民の審判が下った」と強弁しました。

世論調査では、「年金・社会保障」が、「朝日」38%、「読売」41%で「改憲」はともに3%で、民意と全くかけ離れています。

山東昭子参院議長は就任あいさつで「憲法審査会などが活発に動くことを期待する」と発言しました。安倍政権は、国会の憲法審査会を動かすことに執念を燃やしています。

臨時国会をはじめ秋の闘いが重要です。解散総選挙に向け「市民と野党の共同」の確立をめざして力をつくそうではありませんか。

8月25日投票の埼玉県知事選では、保守的立場のみなさんと野党の共同が支えた大野元裕前参院議員が、安倍自公政権丸抱えで、菅官房長官や神奈川、千葉、新潟の各県知事が応援したスポーツライターの青島健太氏を破る大逆転勝利で、「市民と野党の共同」の威力を発揮しました。

8・15終戦記念日は、31県294人が78カ所で宣伝、署名297筆と8万2228枚のビラを配布。5人が入会しました。

ブロック交流会がはじまりました。第39回全国大会決定「さらに行動する同盟」をめざし、年内2万人会員と請願署名の自主目標達成、闘う財政の確立をめざして、交流会では豊かな経験を交流し前進をかちとろうではありませんか。

主な記事

- 各県本部大会・総会開く 3
- 私も一言/井上麻矢・こまつ座代表 3
- 顕彰碑/演劇活動が「目的遂行罪」に 河崎寛康 5
- 抵抗の群像/監房を家とする 大塚英五郎 6
- 同盟文芸/短歌・俳句・川柳 7

2019年8月15日 終戦記念宣伝集計表

県名	宣伝箇所	参加者	ビラ配布	新聞折り込み	県名	宣伝箇所	参加者	ビラ配布	新聞折り込み
北海道	4	37	300	2,620	静岡県	2	8	170	600
青森	5	34	223	3,570	愛知県	1	10	1,800	
秋田	32	33	1,660	7,770	滋賀県	2	15	900	200
山形	2	10	650	5,200	兵庫県				1,500
茨城	0			3,250	和歌山県	0			200
群馬	1	4	100	2,000	島根県	0			1,000
埼玉	1	7	100		岡山県	3	23	300	
千葉	2	5	500	1,000	広島県	0		300	1,500
東京	6	50	800	20,000	徳島県	0			1,000
神奈川	3	15	1,000	2,900	愛媛県	1	2	80	
山梨	1	5	700	8,900	高知県	0			300
長野	1	12	200		福岡県	1		200	
新潟	4	6	650	350	長崎県	1	4	100	1,385
富山	1	2	60		熊本県	0			4,500
石川	2	4	70	1,200	鹿児島県	0			620
福井	1	3	200	1,000	沖縄県	1	5	100	
岐阜	0			1000	小計	12	67	3,950	12,805
小計	66	227	7,213	60,760	総計	78	294	11,163	73,565

8・15終戦記念宣伝
78カ所・294人参加、1万余のビラ配布

8・15終戦記念全国宣行動は、台風の影響のなかで行われました。宣伝は、23県、で294人が参



加し78カ所で、署名して「ポリーフレンドを戦争にとられたくない」「憲法の前文が重要」、(北海道)と激励がありました。

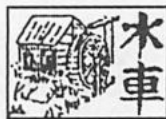
各県では、国民救済会や民主団体との共同で街頭宣伝が行われたところもありました。

秋田県では(写真左)、32カ所の宣伝、33人が参加、6支部が宣伝カード、一支部はハンドマイク宣伝、ビラ1600枚配布。

また、雨の中で訴えを聞いた女性が高崎空襲の体験を切々と訴えてきた(群馬・写真上)。50人が宣伝、ビラ800枚配布、ビラの受け取りよい、「戦争だめ」と署名してくれました(東京)。「犠牲者の名誉回復の署名です」の訴えに若い女性が立ち止まり署名(滋賀県)。岡山・静岡県では、



台風のため日を実施。県庁前の宣伝はビラの受け取りは良かった(沖縄)。



ホロコースト、南京大虐殺、従軍慰安婦は無かったと言っている有名な美容整形外科医がいる。

彼は事実を意識的に歪曲しているのか、ただ無かったかと思っっているのかは判らないが▼さて事実と真実の違いは何だろう。辞書によると「事実」とは、人の意見の介在しない客観的事柄。「真実」とは人それぞれの主観に基づいた考えの結論。地表に住む人類は、天文学が進歩するまでの長い間、太陽が地球の周りを回っていると言う天動説を真実と信じていた▼ホロコースト、南京大虐殺や多喜二の虐殺は歴史的な事実だ。しかし、安倍政権は日本会議などの思想をもとに、これらの歴史的事実を歪曲し、嘘をつき、それらをマスメディアに大量に流し、彼等の都合の良い「真実」を広めている▼彼等は、人類共通の認識にしなければならぬ。同盟は犠牲者達の生き様の事実の顕彰活動や請願署名を通じて多くの国民に知らせなくては行けない。(樹)

「さらに前進する同盟」へ県本部大会・総会開かれる

青森県本部第30回大会

8月10日13時から青森市アピオあおもりで開催。弘前市、五所川原市、むつ市、八戸市など県内各地、全6支部から44人が参加。来賓のあいさつは共産党青森県委員会議長の斉藤美緒氏、メッセー

ジは国民救援会青森県本部から寄せられ紹介されました。議案提案の後、討論に移り8人が発言しました。東青支部は、230人を擁する支部での「不屈」配布、会費集金体制改善の取り組み。西北支部は、五所川原市への議会請願において、否決にはな

ったこと、支部総会、学習会に14人の参加。三八支部は、結成活動報告では全体として前進できたとして、①会員拡大の目標を

して間もないことから先人達の学習や発掘に力を入れているとの報告がありました。

会長に館田篤弘、事務局長に鎌田哲成の両氏を再選しました。

岩手県本部大会

岩手県本部大会は7月26日に開かれ、38人が出席(男24人、女14人)、初参加者は8人でした。

活動報告では全体として前進できたとして、①会員拡大の目標を

私も一言

こまつ座という劇団は作家・劇作家である故・井上ひさしが作った劇団です。

井上ひさしがこの世を去って早9年が経過しました。井上ひさしの父、

つまり私の祖父は、脊椎カリエスで30代の若さでこの世を去っております。脊椎カリエス

小林多喜二、そして祖父と父

井上麻矢

分の父の姿をタブらせていたのではないのでしょうか。

た後、その傷口からばい菌が入ったからと聞かされて育ちました。

その中で私が大好きなセリフがあります。「たがいの生命を大事にしない思想など、思想と呼ぶに値しません」と多喜二がいう時、この思いはいつも父が思っていたことだったであろうと思うのです。

今度上演される「組曲虐

(こまつ座代表)

達成し、過去最高の峰に到達②「国会請願署名は達成率全国2位。久慈・釜石両支部が有権者比1%を超過。紹介議員は参院選で野党

統一議員が勝利し、来年は6人に増える③東北ブロック交流会の成功などを確認しました。

運動方針では2020年代を歴史の転換期と捉える「時代認識」で「さらに行動する同盟へ」前進しよう、会員拡大、請願署名、頭彰活動、犠牲者名簿の作成、女性部の活動などを提起して論議。役員に牛山靖夫会長兼事務局長と常任理事、理事を選出しました。

第42回東京都本部大会

6月23日、全労連会館で、第42回東京都本部大会を開きました。

午前、「治安維持法犯罪―検挙から判決へ―」と題して、荻野富士夫小樽商科大学名誉教授が講演。都本部大会には、国民救援会、レッ

ド・ページ全国区連絡会、日本共産党東京都委員会、東京都議会議員団、日本民主青年同盟、山添拓参議院議員が来賓あいさつ。山添議員は、市民と野党の共同が前進。

(4ページにつづく)

(3ページよりつづく)

参議院32の一人区で統一ができています。日本の進路を決める重要な参院選勝利に全力を。青年部の集まりで、治安維持法による弾圧の事実を知って、驚きと怒りが広がり3人が加入したと述べました。

吉田万三会長は、都同盟40年、同盟50周年を闘い、都同盟の新たな峰に到達し闘う足場を築きました。参院選に勝利し、民主政治実現と1300人同盟へ、ともに闘いましょう、と呼びかけました。

会長に吉田万三、事務局長に中嶋育雄両氏を再選しました。

第36回静岡県本部大会

8月17日静岡県本部は、第36回大会を開催。代議員や評議員など32人が参加。本大会までに300人の会員拡大目標を328人と超過達成して迎えました。中部支部は、結成後1年8カ月で30人の会員を119人にまで拡大し全県の牽引的役割を果たしてきたと、くみの経験と教訓を明らかにしながら、引きつづき同盟の拡大・強化をはかり、国会請願署名を促進することなどを意思統一しました。

そして、「激動する内外情勢の

もと、国賠同盟の使命を果たすため500人の県同盟を建設しよう」との特別決議を採択し前進を誓い合うとともに、新理事2人を含む22人の理事などを選出して閉会。

会長には江川佐一、事務局長には早崎末浩両氏が再任されました。

第38回大阪府本部大会

6月28日、大阪市内において府本部大会が開催され、16支部から76人が参加しました。

大会には、来賓として日本民主青年同盟、日本国民救済会府本部、全大阪労連、日本共産党府委員会の代表が挨拶をしました。その後、有川功会長、塩田一行事務局長の



報告、提案を受け討議に入りました。討議には13人が参加し、堺市長選挙、長谷川テル頭、彰運動、

レッドパージ反対大阪連絡会の活

動、劇団きづがわの鶴彬公演の成功、犠牲者名簿づくりの朝日新聞記事と仲間ふやし、吹田市長・市議選挙、国会請願に参加して、川柳と憲法9条を守る活動、女性委員会の取り組み、支部活動の取り組みなどを発言しました。長年会長として尽力した有川功会長が勇退し、新会長に松本洋一郎、事務局長に塩田一行両氏を選任しました。

第29回島根県本部大会

6月24日、第29回県本部大会を開きました。当日は参議院選挙の目前でもあり参加者は20数人でしたが、島根県と鳥取県の合区での市民と野党の統一候補中林よしこさん(無所属)の必勝を願って頑張ろうと意志統一した大会でもありました。大会に先立ち、赤旗日刊4月30日の一面で取り上げられた「戦艦大和に乗艦経験」島根・出雲 共産党元市議 成相喜代さん(91)に「小学生に平和紙芝居を」ご本人に再演して頂きました。「紙芝居は『原爆の子』、8月6日の原爆による広島市民のまるで地獄のような場面に胸が締め付け

られました。戦争が終わって70年、

戦時中の子供が風化しつつある今日、今の子どもたちの幸せを考えれば、絶対に風化させてはならない」との感想が寄せられました。

会長に渡辺節雄、事務局長に小玉信恵両氏を選任しました。

第30回宮崎県本部総会

宮崎県本部総会は7月30日、宮崎市民プラザに17人が参加して開催。日高会長があいさつ、増本中央本部会長メッセージも代読して紹介。来賓の内田静雄共産党県書記長が激励あいさつしました。

その後、NHKエテレ放送の「自由はこうして奪われた」を鑑賞、同盟のたたかう意義を改めて認識させられました。「総括と方針」では、会員目標150人と署名4000筆を必ず達成することを決めました。署名用紙を「いつでもどこでも持ち歩く」ことが実践の一步という教訓が出されました。参院選での「市民と野党の共同」の前進を喜びました。会長に日高脩、事務局長に天水貞照(いづれも再任)両氏を選出しました。

顕彰碑

探訪

演劇活動が「目的遂行罪」に

かわさきひろやま
河崎寛康

河崎寛康は、1908(明治41)

年1月、熊本県の土族の家に生まれ、早稲田大学在学中に日本共産青年同盟(共青)に加入し、31(昭和6)年10月、共青機関紙「無産青年」編集長に就任。33年9月に治安維持法違反で検挙、豊多摩刑務所に拘禁、執行猶予で保釈される。

39(昭和14)年4月、新潟県長岡市の津上安宅製作所に入社。会社内での演劇活動などが「目的遂行罪」に問われ、43年9月、再び検挙(津上文化事件)され、新潟刑務所に拘禁、そのため会社を餓首された。日本の敗戦直前の45年4月の公判で、懲役3年の判決が

下った。

戦後はすぐに日本共産党の活動に復帰し、46年6月、党北陸地方委員会設立準備会事務局長、続いて日本労働救援会事務局長を歴任。

83年7月、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟新潟支部が結成されると、率先して会長を引き受け、以来14期も会長を務められた。まさに新潟県同盟の草分けです。

河崎寛康が生前書き残した手記『津上文化事件』『治安維持法による権力犯罪と執行人特高警察を告発する』などを見ると、生涯、治安維持法への激しい怒りを持ち続けておられた。

河合寛康は、04(平成16)年5月25日死去された。享年96歳。

新潟市秋葉区大安寺815の新津墓苑の墓地に眠る(墓碑は次女、安藤由紀子名義)。

(新潟県本部顧問・相沢寛)▽交通は、J-R信越線新津駅下車、車で約15分。

水沢出身の八幡三郎さん
神奈川県同盟の初代会長

奥州市水沢出身の八幡三郎さんは、戦前、東京の全協II全国労働組合協議会で活動し、治安維持法で検挙されたことは、「特高月報」や「特別要視察人名簿」で分かっています。ところが戦後は、同盟の神奈川県本部の初代会長になっていたことが、このたび発行され



た『夜明けをめぐり』として治安維持法下でたたかっていた人々・神奈川県で知ることができました。

(『不屈』岩手版19年7月号より)
作家同盟高知支部
二人の帰郷

高知県で作家同盟高知支部が正式結成されたのは1931年11月。この年は、プロレタリア文化運動に参加することになるメンバーが2人、高知に帰ってきた年でもある。海南学校で軍事教練学科試験ボイコットを組織して、岡山の関西中学校に追われた吉田豊道は、

最後の中学5年を卒業して、4月に帰ってきた。横村浩のペンネームを使うことになるのは、作家同盟に入ってからだった。

弘田競は大阪にいたが、この年の6月、徴兵検査で高知に帰ってきた。ヤマケンといわれていた山本直憲に会いに行った。そこへ佐野順一郎が来て出合いとなった。

佐野は、福重庫満らとプロキノ(プロレタリア映画)の巡回上映などしていた。大阪で作家同盟体験のある弘田も乗り出し、作家同盟を作ろうということになった。

(『不屈』高知版19年7月号より)
千葉同盟・救援会共催
歴史探訪の旅

7月7日〜8日、同盟千葉県本部と日本国民救援会の共催で、「歴史探訪の旅」を開催した。行く先は、長野県・安曇野の「ちひる美術館」、業務上過失事件で、国民救援会がかかわっている「特養あずみの里」、貞享義民記念館。新入会員1人、署名88筆、カンパ2000円でした。

(『不屈』千葉版19年7月号より)

抵抗の群像



生涯にわたり平和運動に 取り組んだ 大塚英五郎

大塚英五郎は1908(明治41)

年6月5日青森市で生まれた。

橋本小学校から県立青森中学校
に入学をしたが4年で中退した。

中学校で「聖人」と呼ばれるほどの論語マニアだった大塚。「公言令色仁少なし」「衣食足りて礼節を知る」人民に充分な衣食を与えることなく平和な世の中をつくることはできない、は大塚の解釈。

大塚の読書傾向は「不義にして富む者への怒り」と「正直で貧しいものへの同情」へ発展し、賀川豊彦の『涙の二等分』『壁の声聞く時』から大杉栄の真つ赤な本まで読書に移った。「資本論を読もう」その行き着くところにたどりついた。また、教会に通っている時に『進化論』を読むようになり、そこで出会った藤田らと社会主義のグループをつくり学ぶこととなった。

「犬猫はいるを禁ず」と玄関に

張り紙をしてある柳町の青森一般労働組合の事務所を探し当てて訪れたのは27(昭和2)年で19歳のときであった。

そのときトントンと階段を下りてきて早速歓迎してくれた若い労働者があつた。その態度の親切さ、確信に満ちた話し方、当時国鉄労働者であつた曾根銀治だった。

こうして大塚は青森一般労働組合の青年部員となり、労働党員となった。ここは革命的労働者の唯一の学校であつた。

その後、後藤良輔君が弘前高等学校(現弘前大学)から社会科学研究会の留学訓練生として派遣されてきた。当時の大蔵大臣市乗乙彦の甥でたいへんな学者であつた。

大塚等は彼からブハーリンだのデボリーンだのの理論について教えを受けた。彼もその後、四・一六事件で検挙された。四・一六の大検挙で青森一般労働組合の最高

指導部が壊滅的打撃を受け、未だに西も東も解らない。大塚は組合事務所ががんばって何とか組織と運動の再建をしようと思つた。

当時、田中義一大将を首班とする内閣は、満州事変を始めようとしていたので弾圧は言語に絶し、3人集まれば無届集会で引つ張られ、ピラをまけば出版法違反で挙げられ、演説会は開会と同時に中止、解散を命ぜられた。

無産者新聞も無産青年新聞も発行停止を命ぜられ、「赤旗」並みの非合法紙となつてしまった。

大塚の初めてのピラ貼りは、29年で徴兵検査の前夜、友人の小山や中村と集まる中で、まずは戦争に反対しようということになり、「帝国主義戦争反対」のピラを検査場の周囲に貼ろうとしたが、憲兵に捕まることとなった。

41年、物質不足が深刻化し、当時の青森市長、警察署長、組合長らで相談し、闇価格でもよいから米や炭などをあつめて、販売することとなった。しかし約定が反故にされ警察は大量検挙を行った。

これに抗議し経過を県議会に暴

露、糾弾したところ、当時、木炭組合長に就いていた大塚らを含む各種商工組合長らが検挙され凄惨な拷問を受けた。その後敗戦まで4年半近く24時間毎日監視下に置かれ、分散させられた。

終戦を迎えると、左右一体となつて民主的日本を建設したいと集まつた。第1回青森市戦災者大会を開催し、労働組合や農民組合の組織化や、戦災者の救済、帰還兵や失業者の解決などを要求した。

経験のあつた大塚や平沢らが計画し、特に青森消費組合は「不正隠匿物資は戦災者へ」と「糾察隊」を組織して市民運動を展開した。大塚は各地で演説会を開催し、消費者運動や労働組合の組織づくりを奔走した。

48年に日本共産党に入党。翌年に県委員長となり、昼は県委員会、夜は屋台をしながら、青森大衆飲食店組合長としても活動した。

59年青森市議に当選したあと、県議3期を歴任。生涯にわたり平和・反核運動に取り組む。93年11月死去。85歳だった。

(橋本誠一・県本部会長)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

三体の蟬の亡きながら拾い来ぬ尊しと思ふ短かき命
 静岡県 江川 佐一
 空襲で追われて逃げたトンネルに反戦に生きる老い
 福島県 本山章一郎
 がたたずむ
 敗戦に血迷いかけた軍国少年が眼を開かれた『破戒』
 と啄木 岐阜県 田中 良
 一瞬に焼かれし人の姿秘め原爆ドームヒロシマに在
 り 埼玉県 白川 洋子

「岸壁の母」今もなおカラオケで歌われており永遠
 に忘れじ 奈良県 大森 富士子
 雨降る中マイク握りて切々と君は語りぬ伊藤千代子
 の神前 岐阜県 和田 昌三

「戦争はイヤだ」九条抱きしめて平和のために命捧
 げん 兵庫県 岸本 守
 青稲の続く田んぼの下総の道歩きゆき利根川に会う
 埼玉県 福家 駿吉

アメリカにはへいこらポチの如くして韓国などには
 威張り下司張子 大分県 渡辺 幹生
 ハンセン病首相が面会謝罪する治安維持法もそうな
 らないか 鳥根県 小玉 信恵

〈選のあと〉今月号は8月をはさんだためか、終戦
 にかむ歌が多くありました。江川作品は蟬の命を
 歌ったものですが、戦争に命を失った無名の人たち
 を吊っているような連想がわきます。元山作品の老
 いた人も、空襲でこのトンネルに逃げた人でしよう。

俳句

五七五広島長崎忌日にし

望月たけし選

夏雲や戦の記憶語り継ぐ

埼玉県 小池 莊八

辺野古まで入道雲は高々と

三重県 橋本しげる

平和うたう列の瞳に原爆忌

宮崎県 天水 雨水

汗の噴くごとくに詠みたし五七五

兵庫県 岸本 守

〈評〉かつて俳句は、弾圧に屈せず、治安維持法
 下でも詠み続けられてきた。一句目、四句目の原爆
 投下は、永遠に許さない。「改憲」は狂気の沙汰、
 五七五の力でそれを示そう。

川柳

鈴木いさお選

被爆地で語る安倍さんウソっぽい

大阪府 佐々木雅博

〈評〉核禁条約にサインしないで、何を語っても。
 罪深い今年も首相核禁ノ一

NHKそれでも公共メディアです

埼玉県 福家 駿吉

3分2割れば議論しない党

鳥取県 大久保禮吉

米朝が対話で平和お手本を

大阪府 堺谷九条男

〈新人の方の応募歓迎です。締め切りは毎月15日。
 編集部〉

劇映画「伊藤千代子の生涯」製作支援サポーターの会結成

国賠同盟が協賛する伊藤千代子映画製作を支援するために願問の畑田重夫氏、無言館の窪島誠一郎氏、増本一彦会長はじめ多くの著名人が「製作支援の呼びかけ人」に名を連ねられました。

この映画企画を全国に知らせ、拡げるための「製作支援の会」(サポーターの会)が結成されました。日本母親大会では国賠署名と連携して3000セットの宣伝物を配布、大きな反響を呼びました。

「会」は製作支援の「上映債権募集」に加えて、全国的な「協賛募金」を募る活動を担います。

拠出者はサポーター会員に登録され、「会」からのニュース等が届けられます。

「会」では、★宣伝物の配布活動、★学習会講師・ガイドの派遣などを行います。

◆お問合せ 事務局・藤田廣登
 ☎090・4527・1129まで。

日本母親大会 (静岡) 9000人の熱気

8月24日、25日、第65回日本母親大会が静岡県内で開かれ、のべ9000人が参加しました。25日の全体会大ホールでの運動交流では、同盟静岡県本部女性部長の芝田令子さんが「治安維持法による



犠牲者は、全国で数十万人、静岡県でも千二百人以上にのぼります。近く映画化される伊藤千代子はじめ、静岡出身の鶴丸基代、督子姉妹など女性への拷問と性暴力は言語に絶するものでした。私たちは、平和と民主主義を求めたたたかった人々への謝罪と賠償を求めています」と発言しました。「再び戦争と暗黒政治は許さない」のゼッケンをつけて大石喜美恵中央本部女性部長はじめ同盟員5人も登壇、横断幕とのぼりを掲げました。また男性陣も奮闘、江川静岡県本部会長が先頭に立ち、国賠署名を訴え、藤田顧問も伊藤千代子映画化のチラシを配布しました。中央本部には、署名が次々と届いています。全体会当日、岐阜県女性部の呼びかけにこたえて、1人入会しました。

第30回全国女性交流集會に全国からご参加ください!

日時 2019年11月10日(日) 午後1時開会

11月11日(月) 午前9時分科会、12時閉会

会場 ニューウェルシティ湯河原

記念講演 平山知子さん(あかしあ法律事務所 弁護士)

分科会は、「治安維持法とは何か」「ストップ!安倍改憲」

「語り部活動」「いきいき女性部」の4テーマ。申込書を都道府県本部に送ります。

新支部紹介

淡路支部・兵庫県

8月25日設立 支部長 蛭子智彦

2019年度会費納入を

今年度会費納入100%を実現するため、年度初めからの納入に取り組んでいます。9月末で半年決算です。まだ納入していない方は、できるだけ早く納入してください。

各都道府県本部、支部は納入促進に向けて、体制を。

【訂正】

本紙8月号6ページの「抵抗の群像」の文中の鶴沢勇四郎を鶴沼勇四郎に訂正します。

同8ページ、最高齢者小林末治氏のお名前を「末夫」に訂正します。

事務局日誌

8月3日 関東ブロック打ち合せ 会議

8月5日 会長・事務局会議

8月8日 「不屈」編集会議

8月15日 8・15終戦記念日宣伝

8月18日 新潟県本部総会

8月22日 国際人権活動日本委員会幹事会会議

8月24、25日 日本母親大会in静岡

8月30日 会長・事務局会議

絶賛発売中

『治安維持法と現代』

2019年春季号

【主な内容】「数は力!」第39回全国大会成功バネに=増本一彦、「非国民の汚名着たまふ旅立ちたくない—北海道・生活画展事件」=松本五郎、犠牲者のいま—水谷安子、杉浦正男さんを訪ねて、治維法犠牲者に国家賠償法制定を求める18年度の紹介議員のみなさん、多喜二虐殺と特高告訴の試み=荻野富士夫、治維法と考古学=菊池誠一、松山文雄の「ハンセンエホン」=石子順、「伊藤千代子の生涯」劇映画化=桂壮三郎、「山宣終焉の地プレート」除幕=永島民男、Q&A「天皇の代替わりをどうみるか」=石山久男、《弾圧・抵抗の群像》特高監視下の室蘭「炭かすの街」詩社の人々、《同盟活動》「東北ブロック交流集會in岩手」を終えて。

A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

治安維持法と現代

